

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+18.5%、前年同月比▲0.5%。売上高は前月比+20.5%、前年同月比10.0%となった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

これから夏場に向けて電力重要が増え、コストが増加する恐れがある。また、トランプ関税により、日本の経済活動に悪影響が出てくる可能性がある。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全 国】

2月の新設住宅着工戸数は60,583戸で前年同月比+2.4%、季節調整済年率換算値では805千戸(前月比+4.1%)となった。利用関係別では、持家は16,272戸で前年同月比▲0.2%、貸家は25,744戸で+3.2%、分譲住宅は18,213戸で+5.1%、また木造住宅は34,685戸で前年同月比+5.3%であった。持家が2ヵ月連続の減少となり、貸家が再びの増加、分譲住宅が10ヵ月ぶりの増加となった。

【広島県】

2月の着工戸数は1,020戸で前年同月比▲11.3%、うち持家は294戸で▲6.7%、貸家は518戸で+7.0%、分譲は208戸で▲40.7%であり、前年同月比は再び減少し、延床面積も前年同月比▲11.2%となった。

プレカット工場の稼働状況について、集合住宅や非住宅で再び見積りも増え始めたことで改善したが、需要の減少が響いており、加えて、住宅価格の高止まりによる1棟当たりの加工坪数が減少しているため、先行きについて悲観的に捉えている工場が多い。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

材料費や労務費の上昇により、収益性が悪化しており、業界全体でコスト上昇分の価格転嫁を推進していく必要性を感じる。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

業況に大きな変化は見られない。米国の世界各国に対する関税により、国内経済が大幅に悪化することが予想される。物価高騰が続く中で、これまで以上に価格転嫁が困難になる可能性が高まっている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・前月比では受注量は微増となったが、厳しい状況であることに変わりはない
- ・原材料費、エネルギー代、輸送コスト等の増加により収益性が悪化しているため、生産活動におけるロス
の低減、価格転嫁などの施策を継続する必要がある

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
令和7年03月 2,224 m³ (前年比81.0%)
令和7年02月 1,855 m³
令和6年02月 2,484 m³
- ・令和7年度想定数量 700,000 m³

●鉄鋼・金属製品

(鉄鋼業)

鋼鉄協同組合連合会

材料費等の高騰分を価格転嫁しづらい傾向にあるため、利益確保に若干の影響が出ている。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+2%、前年同月比+21%となった。トランプ政権の動向もあり、国内外の設備投資意欲が停滞している。

リョービ関連工業協同組合

トランプ政権による米国関税が、今後どこまで業界に影響してくるのか心配である。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+1%、前年同月比+8%となった。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産はラージ商品群を加えて大きな期待がかかるが、主力のCX-5のモデルチェンジを予定しており、全体的には低調な生産水準となっている。これまで全体を牽引してきた米国向け販売が追加関税の影響をどの程度受けるかが今後懸念される。

(3月度自動車国内販売動向)

全需は459千台、前年同月比+10.9%と3ヶ月連続で増加。(登録車は+8.9%、軽自動車は+14.6%と共に増加。)マツダ車は全体で+23.1%と増加。(登録車+38.4%(15.9千台)、軽自動車▲15.1%(3.9千台))。

(2月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,244千台で、前年同月比▲1.4%と5ヶ月ぶりに減少。マツダは+2.5%と、前年同月比を8ヶ月連続で上回る結果となった。

欧州の全需は1,042千台で、前年同月比▲3.6%と2ヶ月連続で減少。マツダは▲6.3%と2ヶ月連続で減少。

中国の全需は1,060千台で、前年同月比▲1.3%と2ヶ月連続で減少。マツダは▲28.7%減と10ヶ月連続で前年割れとなった。

マツダの2月の海外販売は、北米では健闘しているが、欧州や中国・タイなどアジアの主要市場で苦戦しており、合計台数は87.3千台、前年同月比▲1.7%となった。

(2月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、北米以外が減少して前年同月比▲8.1%と2ヶ月ぶりに減少。また、国内生産台数は、前年同月比▲2.8%と若干ではあるが減少した。

八本松工業団地協同組合

日産自動車の経営不振や米国による自動車への追加関税により、日本国内の生産活動は減少する事が危惧される。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和7年2月の船舶建造許可実績は2隻、89,600総トンであった。(前月2隻152,990総トン、前年同月1隻45,600総トン)なお、内訳は、輸出船が2隻で、貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・年度末を迎え、資材・雑貨を主体に商材の動きは前月に比べ活発化しているが、仕入価格や人件費・物流費等の上昇分の価格転嫁が十分でなく、収益性は改善していない
- ・最低賃金の引き上げによる人件費上昇が収支に与える影響は大きく、人材獲得のためには賃金の底上げの必要性を理解している企業は多いものの、求人に対する求職者の反応は鈍く、OB等の再雇用等で急場を凌ぐ企業も散見される。また働き方改革の影響により、既存社員への負担や離職者の増加等、ここ1年で環境が更に厳しさを増していると実感する企業も多い

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2025年度の先行は、昨年までと違い民間・官公庁とも不透明な状況が続くことが予想される。2026年4月より変圧器の高効率型への改定が予定されているため、更新工事等の需要増加が予測される。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

当月の実績は、びんご特選では前年比83.4%、他県のJAS表が前年比104.9%と増加する中で、中国産は前年比で69.4%となった。中国産の輸入や化学素材の建材表の普及拡大等厳しい状況が予想される。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・3月度中央市場水産部の取扱高は、前年同月比で減少した。鮮魚の入荷量減少が続いている
- ・水産物の仕入れ価格高騰による販売価格の上昇により、魚離れに拍車がかかることが懸念される
- ・3月度中央市場青果部の取扱高は、前年同月比で113.2%と増加したが、単価上昇によるものであり、入荷量は減少している
- ・食品などの価格が上昇しており、消費者の買い控えは一層大きくなると思われる

協同組合三次ショッピングセンター

商業施設全体における売上の前年同月比は、物販店舗が98%、サービス店舗が108%となり、施設全体としては99%と僅かにダウンした。ほとんどの店舗が売上目標を達成しており悪い状況ではないが、4月からさらに値上げ商品が増えるため、今後の消費者の動向が心配である。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年3月度販売実績90%（前年同月比）。AV商品89%、白物商品90%、薄型テレビ95%（内有機EL45%）、DVD92%、冷蔵庫85%、洗濯機98%、IHクッキングヒーター95%、エコキュート89%、エアコン108%、炊飯器103%、電子レンジ100%、掃除機97%。

店頭の商品切れが多く、国内メーカーが家電製造等の事業規模を少しずつ縮小している印象。将来、家電は海外（中国・台湾）メーカーが大半を占める可能性がある。

●商店街

呉本通商店街振興組合

大和ミュージアムの休館期間の代替施設として「大和ミュージアムサテライト」がオープン、開館期間は約1ヶ月で、入り口のすぐ横にある「よってクレ」（お土産店）も1年間限定で開店した。また、同施設との相乗効果によるエリア価値の向上を図るため、呉市役所商工振興課では、1階テナント前スペースの出店事業者（例：キッチンカー、採れたて朝市等）を募集している。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+10.9%、前年比+1.2%
- ・車検場収入は、前月比+11.7%、前年比▲0.1%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比+31.8%、前年比▲15.1%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型案件などにより、前月と比較して売上は増加したが、昨年ほどは稼働していない印象。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、3月度は前月比+21.5%、前年同月比▲8.4%となった。全体的に低調であり、同月の直近5年の実績の中では最低であった。

福山地区電気工事業協同組合

当月の受注件数は、304件と前年同月比で106%であった。

神辺建設業協同組合

当月は案件数が減少し、前年同月比では売上が大幅に減少した。加えて、物価高騰が続き景況感は悪化している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格は、政府の補助金の支給額が減少したため値上がりとなった

松永地区トラック事業協同組合

3月の売上高は、前月比、前年同月比ともに減少となった。3月は決算の会社が多く、以前は輸送依頼が殺到していたが、現在は、可能な限り在庫を抱えるのではなく、必要に応じて発注するよう発注者側が変化したと感じている。燃料価格は1月以降、高止まりしたままで、暫定税率廃止についても全く動きが見えない。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

前月比では売上が増加したが、令和6年度全体を通じてみると業績が悪化した。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は、公的評価業務の入金や一般鑑定の入金等で売上等は増加した。前年同月比は、一般鑑定業務が多かったため、増加した
- ・不動産市場については、全体的には住宅地、商業地ともに売買が減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少している。地域的に見れば市内周辺地域、特に安佐南区の安古市地区の地価が上昇している。これは旧市内地価上昇により土地供給が減少し、地価の安価な地域の安東から伴地区にかけての地域にこれまで参入していなかった業者が参入したためである
- ・マンション販売についても、新築マンションは価格高騰により、売れ行きが低調になってきている。中古マンションについても依然として販売価格が高止まりしている